

年間指導計画【第3学年】

月	題材名	時数	学習の目標	学習内容	評 価 規 準			指導上の留意点
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
4	学びの探求と未来	1	○作品を鑑賞しながら夢や目標の実現に向けて課題を克服しながら主体的に学ぶ意欲を持つ。	○オラファー・エリアソンの作品を中心に背景や込められたメッセージについて考える。	○オラファー・エリクソンの作品を中心に鑑賞し、見方や考え方を深めている。		○主体的に美術作品の良さや美しさを感じ取り美術の新たな可能性や意味、価値などについて考えようとしている。	○世界が直面する環境問題や社会問題に向き合う美術の力について考えさせる。
5	仏像の姿に見る人々の祈り ★社会と関連	2	○顔や手の表情がもたらす効果による全体のイメージなどを捉え、仏像彫刻の特色やよさや美しさに関心を持ち、見方や感じ方を深める。	○作品を鑑賞し、顔や手の表情がもたらす効果や、形や材料、質感、空間などの造形的なよさや美しさを感じ取る。	○形や材料などの性質、それらが感情にもたらす効果や、顔や手の表情や、質感、空間などを基に、よさや美しさなどを全体のイメージで捉えることを理解している。	○受け継がれてきた表現の特質などから仏像彫刻のよさや美しさを感じ取り愛情を深めるとともに、作者の意図と創造的な工夫、美術文化の継承と創造などについて考えるなどして、美意識お高め、見方や感じ方を深めている。	○美術の創造活動の喜びを味わい主体的に仏像彫刻の良さや美しさを感じ取り愛情を深めるとともに、作者の意図と創造的な工夫、美術文化の継承と創造などについて考え、見方や感じ方を深めるとともに鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	○様々な時代や種類の仏像彫刻の造形的な特徴を学習させ、良さや美しさを味わわせる。
6	わたし自身を見つめて～自画像～ ★国語と関連	8	○自分の心の中を見つめ、自分らしさや個性から主題を生み出し、構図や表情などの効果を考え、絵の具や用具などの特性を生かし創意工夫して絵や立体で表現する。	○自己と向き合い、自分の生き方と照らし合わせながら自分の気持ちや性格、思い出や夢などについて考え、主題を生み出す。	○構図や顔の角度、表情やしぐさ背景や色彩などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴を基に、自分の印象などを全体のイメージで捉えることを理解し、創造的に表している。	○自分の姿を深く見つめ感じ取った事や心の内面などをもとに主題を生み出し、構図や表情などの効果を考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。	○創造活動の喜びを味わい主体的に自分の姿から感じ取った事や心の内面などを基に構想を練ったり、構図や表情など意図に応じて表現方法を工夫して創造的に表したりする表現の学習に取り組もうとしている。	○タブレットを使用し、写真を撮ったり加工したりさせて、表現を深めさせる。
7	あなたのイメージを探そう	8	○彫刻作品が持つ形や材料の特徴、光の効果などを元に対象のイメージをとらえて表現できる。	○彫刻および彫刻が作り出す空間に関心を持ち、粘土という素材を生かした立体を制作する。	○石膏粘土という素材を生かして制作する。	○対象の構造を元に美しい空間を発想し、構想する。	○彫刻や立体作品が作り出す空間に着目して鑑賞する。 ○彫刻および彫刻が作り出す空間に関心を持つ。	○彫刻そのものの美しさだけでなく、空間をふくめて発想構想することを意識させる。
9	ルネサンスが目指したもの ★社会と関連	2	○ルネサンスの美術の特徴や意味を学習し、その造詣のよさや美しさを味わうことができる。	○ルネサンスの美術の特徴や意味を学習し、その造詣のよさや美しさを味わう。	○ルネサンスの美術について学び、その良さや美しさについて批評するなどして鑑賞している。		○ルネサンスの美術について関心を持っている。	○ルネサンスの美術の特徴や意味を学習し、その造形の良さや美しさを味わわせる。
10	どこまで修復すべきか ★社会と関連	4	○美術作品に受け継がれてきた美意識や造形的なよさを感じ取り、見方や感じ方を深めたり、意見を出し合ったりする。	○作品を鑑賞し、形や色彩、材料などに着目して古いものの中にある美意識などを捉える。	○形や色彩、材料などの性質や、それらが感情にもたらす効果、造形的な特徴などを基に、良さや美しさを全体のイメージや古いものの中にある美意識などで捉えることを理解している。	○美術作品に受け継がれてきた美意識などから、伝統や文化の良さや美しさを感じ取り、美術文化の継承と創造などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	○主体的に伝統や文化の良さや美しさを感じ取り愛情を深めるとともに、美術文化の継承と創造などについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	○卒業後に美術の授業がなくなっても、生涯を通じて美術を愛好使用する気持ちを持たせる。
11	思いを込めた卒業記念品	8	○使う場面や飾る場所、思いなどから主題を生み出し、形や色彩、材料の効果を考え、意図に応じて自分の表現方法を追求して見直しを持ってデザインする。	○これまでの美術の授業で身に付けたことを生かして、使う場面や気持ちを考え、意図を生み出す。 ○材料や用具の特性を生かして創造的に表す。	○材料や用具の特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追及して、制作の順序などを総合的に考えながら、見直しを持って創造的に表している。	○構を基に、使う場所や飾る場所、思いなどから主題を生み出し、美的感覚を働かせて調和のとれた洗練された美しさなどを総合的に考え、表現する瑠構想を練っている。	○美術の創造活動の喜びを味わい主体的に調和のとれた装飾を考え構想を練ったり、意図に応じて自分の表現方法を追及して見直しを持って創造的に表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。	○長い間大切にしたいくなるような、中学校生活の思い出になるようなデザインを考えさせる。
12								
1	社会に生きる美術の力	1	○3年間を振り返って、自分が美術の授業を通してどんな力を身に付けたか振りかえり、卒業後の見直しを持つ。	○多様な価値観を知ること、美術文化に関する見方や感じ方を深める。 ○美術における資質・能力が、卒業してからも大切であると理解する。	○紹介されている3名のそれぞれの専門分野で、美術で身に付けた力がどのような形で生かされているか実感を持って知ることができる。		○これまで身に付けてきた美術における資質・能力が卒業後も社会や生活を豊かに、よりよいものにしてくれ、一生大切であることを意識することができる。	○全員が美術を学ぶ機会は中学までであるが、卒業後も社会や生活を豊かに、より良いものにしてくれ、一生大切であることを意識させたい。
2	あなたへ 明日への旅立ち							

